



交通安全を願って…………… 婦人会のみなさんが呼びかけ

交通安全を願って阿知須・井関の両婦人会の役員十数人はこのほど国道で運転者に安全運転を呼びかけました。

ことしの春の交通安全健民運動は四月六日から十五日まで行われました。このうち十四日の午前十時から一時間、中学校付近のバイパスで、通りがかりの自動車を止め、チラシやチョコレート、チューインガムなど配り「気をつけて運転してください」と呼びかけました。

この運動期間中、本町内での交通事故は物損事故が一件のみでした。

(写真は運転者に呼びかける婦人会のみなさん)

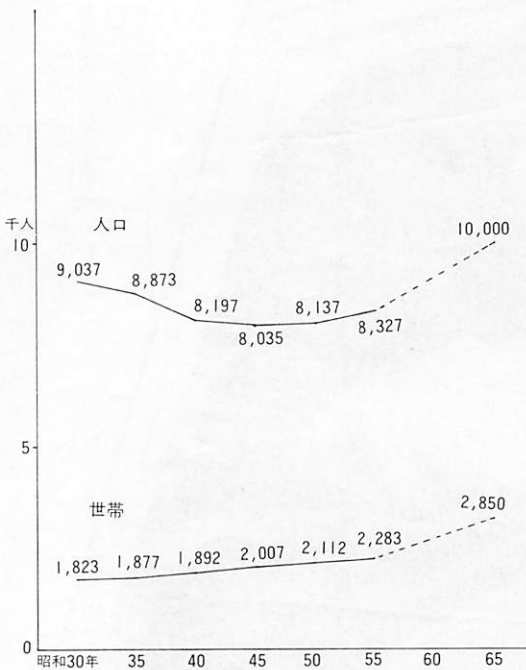
を想定

10年後

町民のためのまちづくり



阿知須町の人口と世帯の推移



町の施策の「憲法」

町では阿知須町の将来あるべき方向を明らかにするとともに総合的、計画的にまちづくりを進めていくために「阿知須町基本構想」を策定しました。基本構想は町の施策を進めるための「憲法」ともなるもので、八章からなり、昭和六十五年を目標としています。これをさらに具体化するためには、基本計画（おおむね五年）実施計画（二年）をつくり事業の実施ということになります。基本計画、実施計画は来年三月までにまとめる予定です。

四つの柱を掲げ

都道府県や市町村など地方公共団体が仕事を進めていくための基本となる法律に「地方自治法」があります。

これには、地方公共団体の区分や組織、運営に関することが定めてありますが、その第二条第五項に「市町村は、その事務

を処理するに当っては、議会の議決を得てその地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想を定め、これに即して行うようにしなければ

最終は一万二千人 快適な環境を保ちつつ

町の将来人口は町の面積、居住環境からみて最終可住人口を「一万二千人」と見込んでいます。しかも、十年後は「二万人」を想定しています。

本町の面積は二・四四平方キロメートルで、県下五十六市町村のうち狭い方から三番目です。人口密度は現在一平方キロメートル当り三百七十二人で、これは高い方から十六番目に当ります。

人口は多いほど活気があつてよいとの考え方もありますが、快適な生活・居住環境をみるとそうもいえません。干拓地は現在、公有水面のため、まだ町の区域に入っていないませんが、将来町域に編入されたとして、一万

ばならない」と規定しています。町ではこれに基づいて、昨夏から、基本構想策定の作業にかかり、阿知須町総合計画審議会（会長・安部一成氏）山口大学経済学部教授）の答申を得て三月定例町議会上程、議決を得たわけです。

○ この中で、町の将来像としては「町民による 町民の 町民のためのまちづくり」を基本理念として、平和の中に、健康で快適・安全・利便・活力あるまちをめざしています。そのため

- 自然と人間の調和する 「田園都市」
- 文化的で質の高い 「住宅都市」

未来をひらく 「科学技術集積都市」 個性を伸ばす 「生涯教育都市」

の四本の柱を掲げています。この場合「都市」というのは「まち」という意味です。自然も人の心も豊かな中で、生活環境のよいまちをめざす。しかも活力あるまちを実現するためにこれまで町内にある産業の技術振興につとめるとともに新しい時代に適應する科学・技術の開発機能を備えた施設等の誘致や導入をはかる。さらに生まれてから死ぬまで誰もが学習や研修が続けられ充実した人生が送れるようなまちづくりを進めたいという願いが込められています。

人の場合、県下で十四番、一万三千人となると十一番目で、町村だけみると和木、小郡町につぐ人口密度となります。したがって、快適な生活環境をそこなわずに、最も多くの人が住める範囲を二万三千人と見込んだわけです。

参考までに、昨年七月、全戸を対象に町民アンケートをした際、「将来の本町の人口はどのくらいが適当と思われませんか」というのに対して、二・二％今でも多すぎる 一七・三％今のままでよい 三三・一％ 一万五千 一六・八％ その他 三三・一％ 一万五千 一六・八％ 一七・三％ 三三・一％ 一六・八％ 三三・一％

人口1万人

町民による 町民の 基本理念

町の将来像

本町は気候、風土、地の利、そして、豊かな自然に恵まれたところである。これを守り育て、さらに人間性豊かな、喜びの多い暮らしができるような場を創出し、次代に伝えていくことが現代に生きるわれわれ町民の責務であろう。そのためには、「町民による 町民のためのまちづくり」を基本理念として、町民の英知とエネルギーを結集し、平和の中に、健康で、しかも、快適・安全・利便・活力が保障されるまちを将来像とする。

この将来像を創造するためには、次の四つの柱をかかげるほか、町民憲章をもってその実現をめざす。(本文のまま)

自然と人間の調和する「田園都市」

本町は「みどり」と花と野鳥のふるさとをキャッチフレーズとして、自然の保護と育成につとめてきた。豊かなみどりは、われわれにうるおいをもたらした。い花は喜びを与えてくれる。野鳥のすみところは人間にとっても安らぎの場でもある。われわれ町民は自然の保護とともにこの底に流れる「守る・育てる・いたわる心」を尊重し、心の結びつきの中から「自然と人間の調和する「田園都市」」の形成につとめる。

文化的で質の高い「住宅都市」

都市近郊にあつて、青い海、美しい川、澄んだ空が開け、陸海空の交通網にも恵まれるなどのすぐれた環境を生かし、都市近郊の住宅地としての役割の分担をめざす。この場合、豊かな自然空間を生かしつつ、生活基盤や生活環境の整備につとめ、社会資本を充実させ、すべての町民が快適で安らぎを覚え、人間性の発揚の場となるよう、「文化的で質の高い「住宅都市」」を創造する。

未来をひらく「科学・技術集積都市」

豊かさと活力ある町民生活を実現するには、本町の産業経済の適正な発展が不可欠な条件となる。このため、在来の産業の振興をはかるとともに、本町の特長を考慮し、新しい時代に適應する産業、科学技術研究開発機能を備えた施設等の誘致や導入につとめることによつて、「未来をひらく「科学技術集積都市」」の建設をめざす。

個性を伸ばす「生涯教育都市」

激動する社会に対処し、充実した生活を営むためには、健康を保持し、絶えず新しい知識や技術を習得し、自己開発に当る必要がある。そのために、学校だけでなく、生涯を通じての学習の機会と研修の場を確保して個人の能力、個性が、職場や社会、日常生活において発揮でき、生きがいと喜びの多い人生となるよう、個性を伸ばす「生涯教育都市」としての歩みを進める。

構想のあらまし

基本構想は「総合計画」のうちの根幹をなすものです。この計画がどの役割をなすのか、身近な例をあげてみましょう。

例えば、みなさんが、もつとよい生活をするために「十年以内にかを建てたい」との目標をたてられるとします。これが、『基本構想』に当たります。次は「土地はどうするか」「二階建にするか平屋にするか」大体の目安をたてます。これが『基本計画』。さらに、資金の見通しもつき、いよいよ工事にかかるうか具体的な作業にかかるの

意義と目的

この構想は阿知須町の現状を踏まえて、将来あるべき姿を想定し、町民共通のまちづくりの方向を明確にしようとするものである。

これは、町民の創意と英知をもつて、総合的、計画的な長期計画をうち出し、新しいまちづくりの展開をはかることを目的とする。

性格と役割

基本構想は本町の将来の方向を示すものであり、町発展の基本となるものである。ここに掲げる将来像の具体化は、基本計画で定めることとし、基本構想、基本計画、実施計画をもつて総合計画とする。

が「実施計画」に当たります。

このたび策定した「基本構想」は「家を建てたい」との目標設定の段階に当るものです。

この構想は

- 第一章 基本構想の意義・目的
- 第二章 基本構想の性格・役割
- 第三章 基本構想の背景
- 第四章 町の将来像
- 第五章 二十一世紀への展望
- 第六章 まちづくりの構想と目標
- 第七章 基本施策の大綱
- 第八章 構想推進の方策

次に本文の中の要点を抜き出したものです。

この計画は町の施策については、総合的、計画的な運営の資とし、国、県、その他関係機関に關係するものについては、協

二十一世紀への展望

二十世紀はエネルギー革命を中心として、人類史上かつてないほどの急激な発展をとげたが間もなく二十一世紀を迎えようとしている。そしていま、これまで長い間たどってきた中央集権と大都市へのパワーの集中が地方分権、脱大都市化へと流れを変えつつある。新しいエネルギーの開発、食糧、人口の問題、エレクトロニクス産業、遺伝子工学の発達など各種産業構造の変革、その他、新しい時代の波は社会も人の生活も大きく変えようとしている。地方分権、脱

大都市化が進めば地方のもつ役割は一層強化されるものとみられる。

力、要請等をもつて実現を期し民間にあつては、理解、協力を期待するものである。

人口推計資料

年次	世帯	人口	5年間の人口増加		年平均人口		一世帯当り人口
			増加数(人)	増加率(%)	増加率(%)	人口	
30	1,823	9,037	△ 41	△ 0.5	△ 0.1	4.96	
35	1,877	8,873	△ 164	△ 1.8	△ 0.4	4.73	
40	1,892	8,197	△ 676	△ 7.6	△ 1.3	4.33	
45	2,007	8,035	△ 162	△ 2.0	△ 0.4	4.00	
50	2,112	8,137	102	1.3	0.3	3.85	
55	2,283	8,327	190	2.3	0.5	3.65	
60							
65	2,850	10,000			2.0	3.50	

本町が活用をめざす干拓地は二十一世紀には地域に大きく貢献するところとなろうが、これを生かし、魅力あるまち、活力あるまち、豊かなまちとして伸ばしていくためには、各分野において格段の努力が望まれるところである。

行政においては、町の事務分掌がふえ、財政面でも自主的、創造的運営が一層求められるほか、住民の行政参加、コミュニケーションの確立など自治本来の姿が示現され、行政と町民の協調と連帯、理解と協力が一層求められることとなろう。

まちづくりの構想と目標

総人口

自然環境、居住環境の維持と調和、町の面積に対する人口の適正配置など考慮して、本町行政区域内の最終可住人口は一万三千人を見込むが、昭和六十五年においては人口一万人、世帯数二千八百五十人を想定する。

産業・就業人口

本町の産業別純生産は第三次産業の比率が高く、今後も第二次・第三次産業の増加が予想される。特に企業を導入した場合第二次産業の増大が考えられる。

土地利用

本町は町全域を都市計画区域とし、その中に用途地域(二〇五・四ヘクタール)農業振興地域(九九五ヘクタール)を設定している。将来は長期展望にたつて一定の時期に見直しをする。とともに、町内全域を土地利用計画に基づいて秩序ある利用と活用を期す。

干拓地の利用

本町には砂郷地区の地先約一キロメートル沖合に突き出た干拓地がある。この面積は二八六・三九ヘクタールで、このうち南工区は九五・三三ヘクタール、北工区は一九一・〇六ヘクタールである。

終戦後、食糧難打開のために農林省が直轄事業で農用地として造成したもので、着工は昭和

二十二年、完成が昭和三十九年、工事費は十億四千三百六十一万三千円であった。

造成後、三回にわたって県が農業入植者を募集したが、農薬用水の確保に不安があることや畑作主体の経営に不安があることなどの点で入植者はなく、現在に至っている。しかも、完工はしているが、公有水面のままになっており、本町の区域に編入されていない。

この干拓地の利用についてはまず、阿知須町の区域に編入するとともに、公共的、広域的観点にたち、公共施設、企業用地、緑地、農業、漁業振興用地、その他、地域振興のための施設用地としての有効利用をはかる。

基本施策の大綱

町の基盤整備

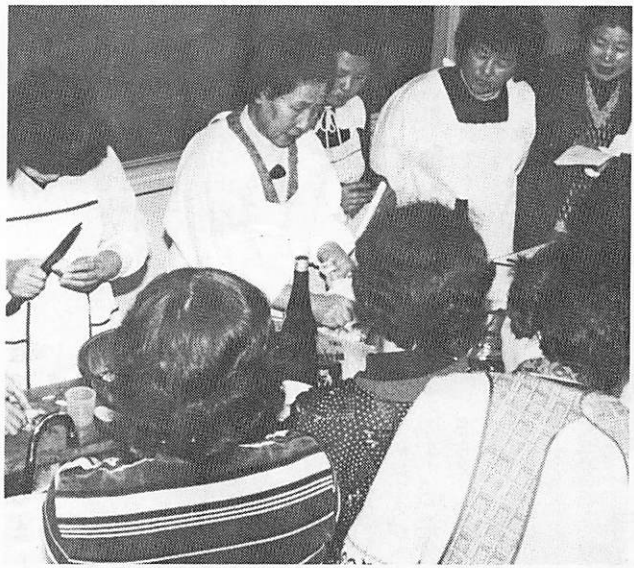
住みよく、豊かなまちづくりを基本要件として町内の基幹道を整備するとともに、周辺地域の交通体系を確保するなどの交通網の整備を進めるほか、土地の保全、電力の確保など基盤整備をはかる。

生活環境の整備

経済の成長は所得水準を高めてきたが、反面、交通事故、公害の増加、消費生活の不安など生活の実質的な向上を妨げている要素が多く生まれてきた。これらの不安を解消し、このまちに住む喜びを町民一人ひとりが抱くことのできるよう、快適、利便、安全性を配慮した生活環境の向上をはかる。

社会福祉の充実

すべての人が不安なく生きがいのある生活をおくること、それが社会福祉の究極である。心身、年齢、社会的な条件のため



料理の勉強も生涯教室

生活環境施設

町民の生活水準向上につれてさらに安定性、向上性を求め、生活の高質化の欲求が強まっていくものと考えられる。そこで快適性、利便性、安全性を一層高めていくために行政と町民が総力を結集して施設の整備、充実、利用の拡大につとめる。

産業の振興

豊かな生活、活力ある郷土の建設は全町民の願いである。美しい自然、肥沃な土地、きれいな

教育の振興

本町は気候、風土に恵まれた土地である。この土地にあって町民が真に豊かな生活を営むためには心身ともにすこやかで、人間性、社会性を備えた人であることが望まれる。そのためには、家庭、学校、社会の三者が人格の完成をめざす教育機能として、総合的にかかわりあいを持ち、人間性豊かな人づくりを目標に、一人ひとりの特性が発揮できるよう生涯を通じての場づくりに当る。

コミュニティ活動の推進

コミュニティ活動は同じ地域に住む人々が自主的、創造的な活動により、人間的なふれ合いや心の結びつきを深めることで真に住みよい社会の建設をめざすものである。

町民の中からコミュニティ組織、団体、グループの育つことを期待するとともに、行政側からは協力、援助、リーダーの養成、活動への啓発、広報・資料の提供等によって活動の推進を

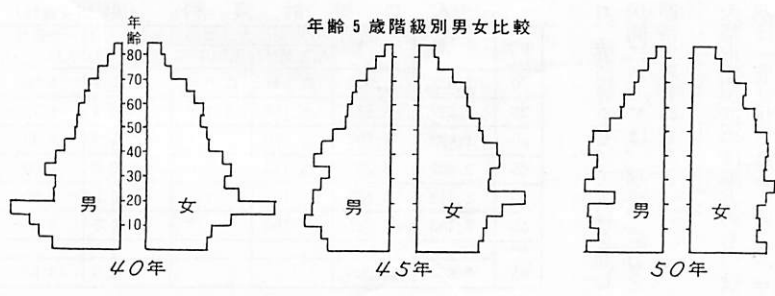
推進の方策

この構想の実現のためには、
①町民参加と民間エネルギーの活用
②行財政の効率的運用
③国・県との連携
④広域行政の推進をはかる。

はかり、町民の連帯と協調の中から喜びと生きがいのあるまちづくりにつとめる。

自主的な活動目標としては、「あじす運動」を實踐し、ふれ合いを深める。

- あいさつをしよう
- じかんを守ろう
- スポーツにはげもう





栄養推進員ペンリレー……③

お勧めします

手作りの野菜ジュース

冷たい飲み物がほしくなる季節になりました。最近では、お店に行けばいろいろなジュースが豊富にあります。お母さんの手作りで栄養たっぷりの野菜ジュースを作ってみてはいかがでしょう。

これから夏にそなえて、スタミナをつけ、夏バテしないように心がけたいものです。食欲がない人、朝食抜きの人、野菜が足りない子どもさんに、ぜひおすすめしたいと思います。



母と子の会話

二人目の子どもが生まれると、母親は、どうしても下の子に手がかるため、上の子のことを、うっかりすると見過ごしてしまうことが多いです。

それまで、いわゆる一人っ子で大事に育てられてきた上の子に、近所づきあいの多い家庭の場合はなおさらで、周囲

ジュースはキャベツ、リンゴバナナ、卵黄、牛乳をミキサーにかけて作ります。他にトマト、イチゴなど入れてもよく、出勤される方には、人參ジュースがととも好まれます。「人參、卵黄、レモン汁少々」をミキサーで混ぜ合わせます。人參ジュースは毎日飲んでいると若さを保つといわれますし、添加物の入らない新鮮なジュースです。生ジュースですから作られたら早く飲むことです。

牛乳のきらいな方は豆乳をおすすめします。「豆腐は畑の牛肉」といわれています。そのエキスです。から蛋白質も多く、消化もよいので牛乳にまざるものをもっていますし、カロリーもありません。

平岩 ルリ子(西条)



本町の青少年育成地区推進員に 山田義興さん(岩前) 伊藤 孝さん(旦北) を委嘱

県青少年育成県民会議(藤本菊治会長)は本町の青少年育成地区推進員に山田義興さん(岩前一岩前・国鉄職員)と、伊藤孝さん(旦北)と、旦北・会社員)の二人を委嘱しました。任期は四月一日から二年間です。

青少年を明るく健康に導き、不良化を防ごうと県民会議が、県下の小学校区ごとに一人ずつ推進員を委嘱しているものです。



伊藤 孝さん

伊藤さんは中学校PTA副会長などつとめ、現在、小郡地区防犯連絡所指導員。



山田義興さん

山田さんは現在、町子ども会

町環衛連の役員 が決まりました

町環境衛生組合連合会(環衛連)の今年度の役員はつぎのとおり決まりました。(敬称略) 会長 酒迎道義(西条)

の大人の関心を一心に集めてきました。このような上の子の満ち足りた「環境」が、弟や妹の誕生によって急に変わることがあります。親は、どちらかといえば、生

二人目

愛情は平等に

またたばかりの下の子に目が移りがちです。そのため、上の子は不安や孤独感を味わうことが多くなります。そればかりか、嫉妬心さえでてくる場合があります。

よくあります。あるいは反対に「いたずらっ子」「あばれっ子」になる場合もあります。親の言うことを素直に聞こうとせず、自分勝手なことをした

副会長 西村作一(砂二) 徳永孝一(岩上) 常任理事 酒迎道義、西村作一、徳永孝一、砂村好忠(砂二)、縄田ユキコ(恵比須)

理事

重田政江(旦東) 縄中勝人(小東) 川崎正義(恵比須) 中村民郎(西条) 小林武男(飛石) 田中ハナコ(岩西) 中村優照(旦東) 福永清二郎(野口) 山本輝義(仙在)

町子連総会で表彰

四月十八日町公民館で開かれた町子ども会育成連絡協議会の総会で東条子ども会と前山子ども会が表彰されました。これは、一年間、単位子ども会として良



く活動したこと、特に、東条子ども会はふるさと運動などの行事によく参加したこと、前山子ども会は地域ぐるみで緑化に力を入れたことによるものです。この席上、昨年の暮子どもたちが少しずつつかいを貯め小筒に入れておいた、愛の募金十一万七千二百七円を、町の不幸な人たちのために使って、子ども会代表の御堂昭彦君(前山)が町社会福祉協議会へ寄付しました。(写真は表彰を受ける東条子ども会)

ほの学校 わたしの学校

〔阿知須小〕 11、12日 六年修学旅行(広島方面)

15日 貯金日

27日 日本脳炎予防接種

6月1日 一年レントゲン撮影

3日 日脳予防接種(接種もれの人)

5日 集金日

7日 両親参観日(バレーボール大会)

9日 ふるさと学習

14、15日 六年修学旅行(広島方面)

24日 日曜参観日

25日 日脳予防接種、貯金日

6月1日 一年レントゲン撮影

3日 日脳予防接種(接種もれの人)

6日 ふるさと学習

〔阿知須中〕

11日 二年振替休日

19日 部活参観日

20日 スポーツテスト

26日 一・三年知能テスト、貯金日・簡易保険納入日

28日 眼科検診

29日 避難訓練、育友会親睦球技大会

6月4日 中間テスト



「ふれあい広場はみなさんのページです。町政への提言や身近な話題、絵画、写真など町企画室（有線二四二）へお寄せください。」

コール・あじす

美しい街から

美しい歌声を

ママさん、パパさんの「コールあじす」が誕生して四年目を迎えようとしています。毎週金曜日午後八時から町公民館大ホールで練習し、現在、女性二十人、男性八人の混声合唱団です。男性会員の確保に一番悩んでいます。練習の金曜日には、皆忙しい時間をさいて出て来ますが全員顔を合わせることはまれでそれでも和気あいあいの楽しい時間です。歌が好きで入った人がほとんどで少々音はずれでも、一生懸命練習しているうちに、いつの間にか、美しいハーモニーが生まれて来ます。これ



がコーラスのよいところではないでしょうか。「コールあじす」は、年一回

の県ママさんコーラスの大会出場と、秋の町民文化祭出場を目標に頑張っています。

徳本佳和さん（小古郷南）の指導のもとに各パートがメンタルハーモニーをめざして歌い続けます。「美しい街から、美しい歌声を」皆さんのお待ちしております。連絡先は磯崎英規さん（繩田南）です。（真重章・記）

はりきってまじす グループ紹介

短歌

小東 松尾 君代
吾が夫の好まぬ短歌講座を音声小さくして聞きて居り

南祝 長谷川さつき
故郷の和刈の神事放映されて関門海峡雪降りいたり
小西 藤重アヤ子
常と変らぬ兄の顔色と思ひ見て心安けく病院を出る
小西 平海アサノ
ポートピア神戸博には来いと

岩西 中本 幸枝
はじめての我が孫なれば杭打ちて鯉職の竿しかと結びぬ
河内 師井 泰枝
警報機鳴れば汽車よと声あげて吾の手つかみて孫は走れり
浜 正司ウメノ
ジャンボ機に闇を飛びたる十七時間つかの間見えしオーロラの光
旦東 木原百合雄
春宵の野営に肩を寄せ合いて櫓

火囲みきえん州の野よ
源河 三吉 琴
花好きの人遠く訪ひ来る日のために蒔く花の種ありふれしものばかり
砂三 桜井 文子
すでに灯を求め来りし夜盗蛾の窓のガラスに身じろがずをり
砂三 渡辺 宮子
春休み終へてまた発つ娘の服を縫ひ居る夜よ嵐は止まず
飛石 砂村ヤス子
白々と今朝立つ霧に向ふの道の

車も桜も見極め難し
旦北 益弘 吾一
腰までを土に埋れて樹間掘るの一途なる性よ貧に連がる
源河 村井 薫
絶ゆるにも非ず咲くにも非ずして年々の春芽ふくおたまき
北祝 原田 双恵
ヘリコプターも飛びつ待機せる下を過ぎ行くS1窓越しに見る
砂一 沖見屋 一郎
井関川朝の満ち潮慶応橋を滑り静かに上る潮先

リフト付バスが活躍 老人ホーム白松苑

老人ホーム白松苑では今、リフト付のバスが活躍しています。これは全国民間放送協会が企



教員生活から
町教委へ
徳永 峻さん（四七）



四月の異動で井関小学校教諭から県の社会教育派遣主事として町教育委員会へ着任。「みなさんにはまたお世話になります。教員生活は二十四年になりますが、大半は阿知須町でお世話になっていました。時に、井関小学校は十一年間でしたからね」と感慨深そう。今までの教壇生活から行政側へ入ったの仕事となるが、その点「やりがいがありますね。学校では教材など備えるのに事務職員に頼んでおけばよかったが、今度は自分がすべてをせんにやあいけませんけど」。

社会教育についての考えやこれからの取り組みについては「私は人の育成は社会教育優先でない」と出来ないと思えます。それは家庭、学校、地域など全体のコミュニティが確立されてこそ成果の上るものです。公民館のいろいろな学習活動も今までのものを後退させてはならないし、町民のみなさんのニード（要求）をつかんでそれに合った社会教育を進めていくのが大切ではないでしょうか。むつかし

画した募金をもとにこのほど贈られたもので、車イスごと乗降できるので身体の不自由な人などの送迎用に使われて喜ばれています。

当面の課題としては、県教委から研究地域の指定を受けている。たくましい阿知須の子の発表会が十月三十一日にあるので、これに向けて懸命とのこと。趣味は「釣りと盆栽ですが、時間がなくて仲々やれません」。スポーツは卓球、野球。生まれは山口市平川、現在は小郡から自動車通勤。

前任者の杉山勲主事は小郡町教育委員会の社会教育主事に転任されました。「阿知須では二年間でしたが、充実した期間でした。みなさん、本当にお世話になりました。阿知須町の一層の発展をお祈りします」とのことです。



▲ちびっこは走る



▲あーあずっこけた

町民運動会

会スナッフ

◀がんばってー



〔社会体育功労賞〕

〔感謝状〕



中野 拓彦さん



中田 光人さん



縄田 正孝さん



真重 章さん



伊藤 寿子さん



鈴木 明さん



大林 信義さん



青木 潔さん



中村 成孝さん



長久 隆さん



蔵谷 光則さん



村田 浩三さん



山辺美智夫さん



▲うまく入るかな



◀綱引きは力いっぱい



▶パンザイ勝ったゾー



▲おばあちゃんと仲よく

空は快晴 人出は最高

町民運動会に43%が参加

ことしの町民運動会は快晴に恵まれた四月二十六日、阿知須中学校グラウンドで開かれました。

入場行進参加者は三千五百九十三人で町民の約四三%。今回は二十五回目ですが過去最高の参加となりました。

プログラムは団体競技やレクリエーションをとり入れたものが多く、なごやかなうちに展開されました。

優勝は寺浜チームで、これで五年連続優勝。参加率も地区内の六一%が参加し、トップでした。参加率は最低が三五・七%。成績は次のとおり。

- ①寺浜59点 ②岩倉57 ③赤浜55 ④東条、源河内50 ⑤前山、縄田45 ⑥引野44 ⑦飛沖43 ⑧砂郷40 ⑨小古郷、鴨生原38 ⑩中西、旦岡37 ⑪玉川35

体育功労者ら13人を表彰

町民運動会の開会式で体育功労者の表彰が行われました。

体育協会の役員として永年つとめた六人に感謝状、地域の社会体育に功績があった七人には社会体育功労賞がそれぞれ体育協会長から贈られました。

受賞者は次のとおり(敬称略)

〔感謝状〕

中田光人(西条)真重章(中村)鈴木明(岡)青木潔(浜)長久隆(小西)村田浩三(中村)

〔社会体育功労賞〕

中野拓彦(恵比須)縄田正孝(砂三)伊藤寿子(飛石)大林信義(赤迫)中村成孝(浜表)蔵谷光則(縄南)山辺美智夫(源河)

お知らせ

役所への苦情など 行政相談員へ

五月十七日から二十三日までは春季行政相談強調週間です。役所の仕事について、苦情、要望、意見があれば山口行政監察局（山口市中河原町六一六・山口②一五九〇番）または、行政相談員橋本正夫さん（砂一・有線四二二三番）にお気軽にお申出ください。

なお、五月二十一日午前十時から町役場で行政相談も開かれます。行政監察局の係官が相談に応じます。

十六ミリ映写の技術講習会

申込みは二十五日まで
県視聴覚センターと町教育委員会では六月二日から四日までの三日間町公民館で十六ミリ映写技術講習会と検定試験を行います。

希望者はテキスト代五百円を添えて五月二十五日（月）まで

町職員異動五月一日付

(一) カッコ内は旧
総務課交通防災係兼総務財政係
係長 同格 (教育委員会社会教育係)
中尾 佐多彦
施設課管理係 (総務課交通防災係)
上野 一秋
産業課農林係 (施設課耕地係)

町教育委員会へお申込みください。
この資格は一度取得すれば更
新しなくて済みます。
日程はつぎのとおり。

一日 (火) 午後六時～十時
映画の効果的な利用法、映写機の原理と構造、映写機の操作 (実習)

三日 (水) 午後六時～十時
映写機と映写フィルムとの保守、映写会の効果的運営法、操作 (実習)、学科試験

危険物の試験 は六月十七日

今年度第一回の危険物取扱者試験が六月十七日 (水) 十時から山口市、宇部市、防府市など県下十五会場で行われます。試験は乙種第一、二、三、四、五、六類および丙種です。願書の申込みは五月二十二日まで。詳細は四月十日付の「山口県報」を参照のこと。

体力づくりゲートボール大会
五月二十二日町民グラウンドで

町教育委員会ではゲートボールを通じ、高齢者の健康保持につとめると共に親睦と融和をは

かるため体力づくりゲートボール大会を五月二十二日 (金) 午前九時から町民グラウンドで開きます。

参加対象者は老人クラブ会員および町内在住の高齢者、種目は女子の部と混合の部で、どちらも勝者トーナメント、敗者トーナメントを行います。

申込みは五月十八日 (月) までに町教育委員会 (有線四八九二番) へ。

善意はここに

〔社会福祉協議会〕

◇ 香典返し 10万円 河村豊さん (恵比須) は父与一さんの 3万円 藤井隆行さん (小東) は養母藤重子ヨノさんの 2万円 河村政義さん (下関市大字宇部王司団地・細南出身) は父勝義さんの 2万円 山城昭男さん (徳山市大字徳山五二二の二) は養母ワサさんの

◇ 篤志 11万七千二百七円 阿知須町子ども会育成連絡協議会は愛の募金を 1万5千円 松陰保育園の職員と母の会一同園の庭園にあたって 4千円 木村美代子さん (砂一) は拾得金を 3千円 縄田静代さん (浜) は初月給の一部を 1千円 匿名希望 2人。

町々

◇ 広報紙送料 3万円 伊藤繁さん (飛石) 1万円 三井頭一郎さん (北九州市門司区東明丘・寺河内区出身) 5千円 梶間谷允さん (茨城県新治郡櫻村竹園一の八〇四の四〇一・寺河内区出身) 3千円 田辺節

5月のメモ

- 12日 育児相談 (後1時半)
 - 17日 十七夜祭
 - 19日 1歳6か月児健康診査 (後1時半)
 - 三種混合 (後2時半)
 - 20日 ポリオ生ワクチン投与 (後1時半)
 - 21日 交通事故相談 (前10時)
 - 心配ごと相談 (前10時)
 - 26日 歯科検診 (後1時)
- (会場の記入のないのは役場)

公民館メモ

- 12日 造花教室 (後1時半)
 - 13日 保存食教室 (前9時半)
 - すみ絵教室 (前9時半)
 - ペン字教室 (後2時)
 - 14日 園芸教室 (後1時半)
 - 手芸教室 (後1時半)
 - 15日 洋裁教室 (前10時)
 - 17日 本読みの会 (前10時)
 - 第6回十七夜祭奉納子ども相撲大会 (後1時・阿知須小相撲場)
 - 19日 料理教室 (前9時半)
 - 20日 ペン字教室 (後2時)
 - 21日 陶芸教室 (後1時半)
 - 22日 体力づくりゲートボール大会 (前9時・町民グラウンド)
 - 洋裁教室 (前10時)
 - 24日 野外スポーツ教室 (前8時半・公民館集合)
- 今月の納税
○国民健康保険税

慶弔録

出生おすこやかに)

親の名 続柄子の名 月日 部落

日百合男 二男 威夫 4・2 前山
蔵谷 明 二女 美由紀 4・5 恵比須
藤永 一美 長女 智子 4・8 小西
片山 辰二 長女 美和子 4・15 北祝
岡田 猛 二男 晃幸 4・18 北祝
井本 達彦 長男 琢哉 4・19 岩前
古谷 彰正 長女 幸子 4・19 砂一

婚姻(おしあわせに)

氏名 旧姓 住所
長峰俊彦 (末永) 飛石 宇部市
一重 宇部市
永野隆志 宇部市
由子 (竹本) 門松 宇部市
松田義政 宇部市
くみ子 (松本) 且北
石田克明 岩西前
里美 (三浦) 恵比須
今本正美 砂一

佳代子 (阪田) 下関市
杉野嘉裕 宇部市
弘子 (大田) 向井園
藤井博人 南祝
美須子 (鳴元) 繩南
永峯久幸 吉敷郡小郡町
高子 (末広) 青畑
安藤和晃 山口市
百合子 (藤岡) 岩西
林 一寿 築地
多美代 (秋吉) 宇部市
死亡(冥福を祈ります)

氏名 死亡月日 年齢 部落

町の住民登録人口	
(56年4月30日現在)	前月比
世帯 2,219世帯	+3
人口 8,407人	-3
(男 3,938人 女 4,469人)	
(国勢調査 昭和55年10月1日)	
世帯 2,283世帯	
人口 8,327人	
(男3,887人 女4,440人)	

中尾 清子 4・1 70 沖の原
河村 与一 4・11 85 恵比須
藤田 好雄 4・13 78 繩北
上田 理助 4・17 85 白松苑
藤本 義人 4・20 51 且東
小河内義雄 4・20 70 白松苑
真藤キヌエ 4・20 72 西条
坂井ツイ子 4・25 66 且北
【訂正とおわび】前月号の出生欄「松永富雄さんの長男「日絃」は「明絃」でした。